

2024年3月期 通期 決算説明会

2024年4月25日

日野自動車株式会社

代表取締役社長 CEO

小木曾 聡

1.2023・2024年度 決算のハイライト

決算の総括

- ・2023年度、2024年度ともに、**認証不正影響の継続 および不採算事業の影響で本来の収益には届かず。**
- ・**本来あるべき収益を目指し、更なる増益に向けて、スピード感を持って課題に取り組む。**

| | 2023年度 | 2024年度 |
|-------------------------|--|---|
| 営業利益 | ▲81億円 | 200億円 |
| 変動要因 〔対前年で記載〕 | <ul style="list-style-type: none">・ 海外の販売鈍化・ 材料市況悪化・固定費増 | <ul style="list-style-type: none">・ 国内・トヨタ(SUV)台数増・ 固定費効率化・ 海外台数微減、材料市況悪化 |
| 一過性・特異な事象 | <ul style="list-style-type: none">・ 認証不正の影響：販売台数・一時的費用・ 不採算事業 | |
| 当期純利益 | 171億円 | 未定 〔認証関連の潜在債務の合理的見積りが困難な為〕 |

2. 2023年度・2024年度について

2023
年度

- 2度と不正を起こさないための3つの改革
- 認証不正からのリカバリーへ注力
(A09出荷再開、お客様補償、米国集団訴訟和解)

2024
年度

- 上記取り組みは継続しながら、正常化に向けて取り組む1年

その他：

認証不正の再発防止に基き、各国に導入される規制への対応を慎重に推進。

これらの開発工数も踏まえた対応により、一部の国において商品供給や生産に影響発生。

- 24年度のグローバル生産への影響は約1.8万台。規制ルールに基づいた在庫積増し等で販売への影響は軽微
- 規制ルールに基づき生産停止中（タイ、ベトナム）
- 24年度中の正常化を目指す

3. 2023年度の主な取り組み

- 「認証不正対応」、「将来に向けた取り組み」

- 二度と不正を起こさない3つの改革の断行

- 風土改革：「経営層との対話会」、「経営層のオフサイトMtg」などコミュニケーション活性化
- 経営改革：育成ローテーションの活発化、評価制度など人事制度の整備
- クルマ作り改革：「データ自動保存システム導入」、「ISO9001取得」など不正を起こさない仕組みづくり



- 認証不正からのリカバリーへ注力

- A09C出荷再開はじめとするステークホルダーのご迷惑解消
- 米国集団訴訟和解、米国当局調査対応、カナダ・オーストラリア集団訴訟への対応

- カーボンニュートラルに向けた取り組み

- 日野デュトロ Z EV拡販
- カーボンニュートラルに向けた取り組み公表
- CJPT復帰 および CJPT Asiaへの参画



- QDRの追及（総合品質）と人づくり

- ダカール・ラリー完走



4. 2024年度の取り組み

- **正常化に向けた取り組み**

- **選択と集中**

- 不採算市場・事業・車型の整理・縮小・撤退を継続
(23年度は中国・広汽日野の持分株式譲渡等を公表済み)

- **総合品質に向けた取り組み**

- お客様ニーズに合わせた着実な車両のアップデート、継続的な販社リニューアル・拡充

- **コスト競争力強化**

- 原価低減活動強化

- **固定費、間接経費のムダ撲滅**

- 物流やファシリティ調達を含むあらゆる項目でのキャッシュアウト削減の取り組み
- 固定費は全社ゼロベースでスリム化を実施

- **経営統合**

- 統合に関する協議は前向きに進んでおりこれを着実に推進する

会社の使命

人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する

